

一般質問

今定例会における一般質問は、6月11日・12日の2日間
にわたり行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題に
ついて市の所信をいただきました。
内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載い
たします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)



学校教育活動の現状と課題について

岩上 博志 議員



質問 本市が目指す部活動
地域展開とはどのようなも
のなのか、市民に示すこと
ができるグランドデザイン
のようなものがあるのか伺
います。

答弁 将来にわたり、生徒
がスポーツ・文化芸術活動
に継続して親しむことがで
きる機会の確保を目指して

います。7月下旬にはグラ
ンドデザインを示すことを
検討しています。

質問 部活動地域展開にお
ける活動費用や派遣費用の
負担について伺います。

答弁 受益者負担の在り方
をはじめ、国や県の補助金
の活用、クラウドファンデ
ィングやスポンサー制度など、

岩上 博志 議員 (6 ページ)

○学校教育活動の現状と課題について

平井 玲子 議員 (7 ページ)

○持続可能なごみ処理行政と投票環境の向上について

堀口 きく枝 議員 (7 ページ)

○危機管理対策における防災環境の整備について

権田 昌弘 議員 (8 ページ)

○教育の質の充実と高齢者の移動手段、介護支援につ
いて

野本 泰生 議員 (8 ページ)

○ごみの減量化と公共用地の利活用について

篠木 正明 議員 (9 ページ)

○ゴミ袋の有料化について

田辺 純子 議員 (9 ページ)

○学校給食における安全な食材の確保と幼児教育・保
育の負担軽減について

岡野 陽子 議員 (10 ページ)

○市内ごみ山問題その後の対応について

○外国人の埋葬に関する現状について

斉藤 貢一 議員 (10 ページ)

○館林市人口ビジョン・第3期館林市まち・ひと・し
ごと創生総合戦略について

池森 のり子 議員 (11 ページ)

○多様な人材が活躍できる職場環境の充実について

飯島 一志 議員 (11 ページ)

○組織機構について

6月11日

6月12日

様々な可能性について研究
し、持続可能な支援の在り
方を検討していきます。

質問 ぐんま教育ビジョン
実現プロジェクトとは、ど
んな取組なのか伺います。

答弁 弾力的学級編制の選
択を可能にする取組で、学
級1クラスを2名で担当す
ることができ、今年度から
第三小学校の2年生、第五
小学校の1年生、第六小学
校の2年生で導入していま
す。

質問 特別支援教育介助員

の現状はどうなっているの
か伺います。

答弁 本市では、現在小学
校に25名、中学校に6名、
計31名の介助員を配置して
いますが、障がいの程度
や緊急度の高いケースを優
先している状況です。引き
続き、現場のニーズに応じ
た配置に努めていきます。

質問 日本語学級について、
本市独自の支援体制がある
のか伺います。

答弁 市独自の予算で日本
語指導助手を配置すること

により、日本語指導の充実
に取り組んでいます。

質問 日本語学習プレクラ
スに通わせたいにもかかわ
らず、通室を断念している
児童生徒に対する支援はど
のようにしているのか伺い
ます。

答弁 プレクラスで指導に
当たっている指導者が、日
本語指導に課題を抱えてい
る学校を巡回して指導する
など、学校現場の状況に応
じた支援を行うことも考え
ています。